

臨床セミナー申込について

- 定員数：80名(先着順)
- 対象者：臨床心理士・公認心理師・医師などの専門家、大学院生、研修生事例に関する情報の守秘を原種できる方
- 受講料：5万円(大学院生、研修生は4万円)

■申込み方法

振込用紙に下記の必要事項を明記し、受講料をお振込みください。

- ①氏名(ふりがな)
 - ②住所・電話・FAX・e-mailアドレス(※e-mailアドレスは必ずはっきりとご記入ください。)
 - ③ご所属
 - ④職種(臨床心理士・医師・大学院生・研修生・その他)(※臨床心理士の資格をお持ちの方は、登録番号を記載してください。)
 - ⑤事例発表の希望(有・なし・考慮中)
 - ⑥研修証明書(要・不要)
 - ⑦基礎の基礎セミナー受講(希望の有無)
- ※お振込み確認後、事務局より「受講申込受付完了」のメールを送信いたします。rinsemi.sapochil@gmail.comからのメールを受信できるようにしておいてください。※2週間経っても申込完了のメールが届かない場合は、上記e-mailアドレスにお問い合わせください。

■振込先

- 口座番号：郵便振替00980-8-150282
- 加入者名：NPO法人子どもの心理療法支援会 京都精神分析・臨床セミナー

■第6回オープンセミナーのみ申し込み

件名を「第6回オープンセミナー申込」として、以下の項目をご記入の上、rinsemi.sapochil@gmail.comまでご連絡ください。

- ①氏名(ふりがな)
 - ②サポチル正会員/非会員
 - ③ご所属と職種
 - ④お電話番号
 - ⑤(非会員の方のみ)郵便番号と住所
- 【参加費】サポチル専門会員:9500円 / 非会員:10000円 / ボランティア会員:8000円 / 院生・学生:8500円
参加申込後、2週間以内に申込受付メールをお送りいたします。参加費はセミナー当日現金でお支払いください。

■基礎の基礎セミナー申し込み

振込用紙に必ず「基礎の基礎セミナー受講希望」と書いてください。
後日、受講の可否についてご連絡いたします。参加費は第1回時にご持参いただきます。
※参加費を、臨床セミナー費と同時に振り込まないでください。

申込締切：2020年12月20日(日) ※先着順なのでお早めにお申込みください

サポチル会員募集中！

現在(2020年5月末)、ボランティア会員24名、専門会員159名が、本NPOの研修プログラムへの参加をはじめ、研修会の企画運営、広報事業などに携わっています。本NPOの活動への積極的なご参加をお待ちしています。申込方法は、Webサイト[<http://sacp.jp>]をご覧ください。

また寄付により、子どもの心理療法の料金を支援していただく**賛助会員**を募集中です。2020年5月末の時点で282名の方にご支援をいただいている。寄付はWebサイトからのクレジットカード決済、もしくは郵便振替(一口5千円より)によって可能です。

- Webサイト[<http://sacp.jp>]「サポートのお願い」のページをご覧ください。
- 郵便振替 [口座番号:00990-0-192194 NPO法人子どもの心理療法支援会寄付金]

多くの方のご寄付により、経済的理由で心理療法を受けられないお子さんに心理療法を提供することが可能となっております。ご支援、ご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

みんなの協力で、子どもたちが心のケアを受けられる社会へ。



認定NPO法人 子どもの心理療法支援会

認定NPO法人 子どもの心理療法支援会 事務局
e-mail:info@sacp.jp URL:<http://sacp.jp>
〒604-8187 京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町444初音館302
FAX:075-600-3238

2021年 京都精神分析・臨床セミナー 運営スタッフ

臨床セミナー 林秀樹(基礎の基礎セミナー)
運営スタッフ 辻内咲子 西野将史
堀内瞳 村田りか
横田侑佳 松崎佑亮

理 事 吉岡彩子

井上祐(臨床セミナー担当)
竹田駿介(臨床セミナー担当)
竹林奈奈 久永航平
脇谷順子 河邊真千子

理 事 長 平井正三
副理事長 津田真知子
顧 問 鵜飼奈津子 飛谷涉
監 事 鈴木誠



サポチル 認定NPO法人 子どもの心理療法支援会 主催

2021年

京都精神分析・臨床セミナー

ごあいさつ

当会は、子どもの精神分析的心理療法実践の普及を目指す非営利団体です。虐待を受けた子どもや発達障害を持つ子どもへの心理療法や親へのコンサルテーションなどの実践を支援するとともに、心の専門家に対して精神分析の知識と技量の研修活動を行ってきました。京都精神分析・臨床セミナーはこうした研修活動の柱として実施してきました。今年度は、現在、社会的な問題として関心を集めている子どもの虐待の問題に関する精神分析の考え方を学んでいくことになりました。精神分析に加えて、メンタライゼーションや精神病理学や発達心理学などの最新の知見から虐待の臨床に大いに役立つ学びの場となることを期待して企画いたしました。皆様の振るってのご参加をお待ちしています。

認定NPO法人子どもの心理療法支援会 理事長 平井正三

今年度のテーマは、「虐待とその影響を考える—精神分析に根差した理解と支援」

第1回 2021年1月17日(日) 平井 正三 先生 「子どもの虐待と精神分析的心理療法」

第2回 2021年2月14日(日) 飛 谷 渉 先生 「思春期における自閉と被虐待の交点—ヒューマニティの空隙」

第3回 2021年4月18日(日) 鵜飼 奈津子 先生 「子どもの虐待の世代間伝達とアタッチメント
一親・そして親子の支援」

第4回 2021年5月23日(日) 鈴木 誠 先生 「多職種協働や組織機能を蝕む虐待トラウマのインパクト」

第5回 2021年6月27日(日) 福本 修 先生 「成人と被虐待:さまざまな水準での表れ」

第6回 2021年7月25日(日) 脇谷 順子 先生 「Alvarezの臨床から学ぶ」
崔 炯仁 先生 「メンタライゼーションに基づく治療(MBT)
～外傷的育ちを生きてきた人の心を見わたす心～」
※オープンセミナーとして第6回のみの受講も可能です。

臨床セミナー開催日の午前中(10:30~12:00)に「基礎の基礎セミナー」を開講します

第1回 平井 正三 先生
「導入:精神分析とは何か?」

第4回 津田 真知子 先生
「心理療法を精神分析的に行うことの諸問題」

第2回 飛 谷 渉 先生
「青年・成人の精神分析臨床:基礎の基礎」

第5回 竹山 陽子 先生
「タビストック方式乳児観察:ビデオと解説」

第3回 鵜飼 奈津子 先生
「子どもの精神分析臨床:基礎の基礎」

第6回 平井 正三 先生
「終結:ふり返りと研修プログラムの説明など」

参加費 臨床セミナー(全6回受講) …5万円(※振り込み)

大学院生、研修生の方は4万円で受講いただけます。
第6回オープンセミナーのみ単回受講可(先着順)
参加費8千円~1万円(※直接手渡し)

基礎の基礎セミナー(全6回受講) …1万円(※直接手渡し)

(※詳しい申込み方法は最後のページをご覧ください。)

時 間 各回 13:00-17:30

●前半2時間【講義】 ●後半2時間半【事例検討】
第6回はオープンセミナー。この回のみ13時~18時です。

第1回…コープイン京都
第2回…TKP京都四条駅前カンファレンスセンター
第3回…京都テレサ
第4回…ハートンホテル京都
第5回・第6回…ハートピア京都(京都府立総合社会福祉会館)

*遠方など特別な事情がある方に限り、オンラインでの参加も可能です。rinsemi.sapochil@gmail.comまでご連絡ください。
*新型コロナウイルス感染症COVID-19の影響を鑑みて、オンラインでの開催となる場合がございます。

コープイン京都



烏丸・四条駅より徒歩5分

TKP京都四条駅前
カンファレンスセンター



烏丸・四条駅直結

2021年 京都精神分析・臨床セミナー スケジュール

★講師が挙げている参考文献は講義内容を補うものです。

第1回 2021年1月17日(日)	子どもの虐待と精神分析的心理療法	平井 正三 先生
本講義では、子どもの虐待に関する心理臨床に必要な知見を、精神分析を中心にご紹介するとともにこうした子どもの心理療法において必要な理解の枠組みや介入の指針に関する私の考え方をお話しします。今日、虐待と言った場合、ネグレクトや身体的虐待のみならず、性的虐待や面前DVにも注目する必要があります。また、トラウマ性の反応や解離状態、境界例的な心的状態、発達障害の傾向など多様な臨床上の現れに対応していくという困難な課題があります。本講義ではこれらについても触れていくたいと思います。		
参考文献	平井正三・西村理晃共編・サポチル著『児童養護施設の子どもへの精神分析的心理療法』誠信書房 ポストン&スザー共編『被虐待児の精神分析的心理療法』金剛出版	
ご所属	御池心理療法センター、サポチル	
第2回 2021年2月14日(日)		
	思春期における自閉と被虐待の交点 —ヒューマニティの空隙	飛谷 渉 先生
児童虐待は、家族機能の極端な破綻の結果生じる。そうした破綻した家族で育った子どもの心は、パーソナリティの基盤となるはずの心的皮膚と心的核(脊椎)が様々な程度でダメージを受ける。深刻な場合には、心的皮膚も脊椎も形成されない。その結果、内部に支柱を持たず「硬い殻Hard Shell」に覆われる。しばしば被虐待児が自閉スペクトラムに似るのはそのためである。そうしたパーソナリティでは、心の内外の交通が生じにくく、コミュニケーションは困難となるが、ナルシズム(マイナス性・破壊性)と自閉的防衛(ゼロ性)によって、部分的に生き残ることだけが可能となる。思春期は心的脱皮の時期だが、被虐待児はそもそも心的皮膚が裂けているか、もしくは硬い殻に覆われているために脱皮できない。また、コミュニケーションとしての現実的投影同一化ができないため集団に入ることが困難になる。したがって、心的状態としての思春期(中学生)に入れないのである。本講では、現代クライン派のモデルをもとに、臨床素材を交え、被虐待と自閉の共通基盤を理論的に描出し、その思春期過程における困難について考えたい。		
参考文献	「発達障害・被虐待児のこころの世界」ラスティン、ダビンスキー、ロード(編)木部則雄監訳 岩崎学術出版社 「思春期のアセスメント—心的脱皮と思春期グループの体験をめぐって」飛谷渉、精神分析研究vol.63(1).p19-27, 2019	
ご所属	大阪教育大学保健センター准教授	
第3回 2021年4月18日(日)		
	子どもの虐待の世代間伝達とアタッチメント —親・そして親子の支援	鵜飼奈津子 先生
子どもに対する養育者からの虐待や、その世代間伝達が認識されるようになって久しい。それは、救急医療や児童養護施設など、第一線の現場で仕事をする人々によって痛切に実感され、精神分析的立場やアタッチメント理論の立場からも様々に論じられてきている。本セミナーではまず、こうした子どもの虐待の世代間伝達について、精神分析理論およびアタッチメント理論の立場から、それがどのように理解されてきたのかを整理する。そして、近年、日本でも広く実践されるようになってきた、ライフストーリーワークや親子関係再構築支援といったソーシャルワークの実践について、精神分析的立場から検討することで、領域をまたぐ協働作業と重層的支援が、子どもの虐待の世代間伝達とアタッチメントの問題にいかに寄与できるのか、受講者とともに考えたい。		
参考文献	「児童虐待の世代間伝達に関する一考察」(『心理臨床学研究』第18巻第4号 2000) 「アタッチメントの問題と親子のレジリエンス」(鵜飼奈津子『教育と医学』773号 慶應義塾大学出版会2017) 「愛着と虐待の世代間伝達」(鵜飼奈津子『精神療法』第43巻第4号 金剛出版 2017) 「子どものこころの発達を支えるもの」(誠信書房 2016)	
ご所属	大阪経済大学人間科学部教授、大阪経済大学心理臨床センター長	
第4回 2021年5月23日(日)		
	多職種協働や組織機能を蝕む虐待トラウマのインパクト	鈴木 誠 先生
虐待対応の多職種混成チーム、児童相談所や児童養護施設、学校や教育委員会が、うまく機能せず、子どもの保護やケアに失敗するケースが少なくありません。凄惨な事件の場合には、調査が行われて、「人員や専門性の不足」や「連携不足」、「責任ある専門職の不作為」など、原因や責任の所在が明らかにされます。似たような過ちは繰り返されています。こうしたチームや組織に、何が起きているのか?こうした問題について、援助職のグループが、虐待トラウマの激しい投影同一化にさらされて、協働や組織機能を破壊していくという観点から考えていくたいと思います。手がかりは現代精神分析の着想で、心的退避、個人と集団の間で生じる投影同一化、集団と集団の間の投影同一化、圧倒的な情緒に対する社会的防衛(組織文化や組織病理)などが役立ちます。この探索を通じて、援助職自身が日常的なケアを必要としていることが明らかになるでしょう。対人援助職の研修であるワークディスカッションを通して専門性の向上を図るとともに、その精神分析的なグループ体験を通して、虐待対応チームを心理的に援助して、こうした問題を克服していくことが、新たな課題になると思います。		
参考文献	「ワーク・ディスカッション——心理療法の届かぬ過酷な現場で生き残る方法とその実践」(鈴木誠・鵜飼奈津子 監訳 岩崎学術出版社) 「児童養護施設の子どもへの精神分析的心理療法」(平井正三・西村理晃 編,誠信書房) 「Social Defences Against Anxiety:Exploration In A Paradigm」(Ed:D.Armstrong & M.Rustin, Karnac)	
ご所属	くわな心理相談室	

第5回 2021年6月27日(日)	成人と被虐待:さまざまな水準での表れ	福本 修 先生
幼少期に虐待を受けた経験は、少なくない成人患者に認められる。しかし必ずしもそれを自覚して生きてきたわけではなく、何かをきっかけにそれが想起され、外傷記憶として働く(フロイトが言う「事後効果」)こともあれば、治療が始まってから主題として明確になることもある。更には、子供を養育するようになって気づかれることがあれば、自覚なく「世代間伝達」を行なうこともある。成人になってからのトラウマ体験は、それが破局の不安をもたらすとき、実際にはトラウマ再体験であることが多い。症状は、パニックや解離が典型的だが、自己治癒の試みは、医療やセラピーの枠外で行なわれることもある。講義では、フロイト、フェレンツィの症例から現代の事例まで振り返りながら、この問題の広がりを確認したい。		
参考文献	キャロライン・ガーランド編『トラウマを理解する—対象関係論に基づく臨床アプローチ』 「福本修:心的外傷の行方—病理的組織化と次世代への負債」(『埋葬と亡靈』所収)	
ご所属	代官山心理・分析オフィス	
第6回 2021年7月25日(日)		
	オープンセミナー	※この回のみ13時~18時です
Alvarezの臨床から学ぶ		
Alvarezの臨床は、常に目の前にいる子どもへの注意深い観察と関心に根差している。Alvarezは、ことばになつたり意識されたりする前の状態のもの、ばらばらになつたり断片化したりしているもの、そして、変化や発達の“萌芽の萌芽”とも呼べそうな微かなものも見ていくう、捉えていくうとする。Alvarezのそのような視座と実践は、子どものこころの中の、誰からも関心を向けられることのなかつたさまざまな側面に私たちが目を向け、考えていくことを助けてくれる。Alvarezの臨床は、私たちが既成の概念や価値観というフィルターを通して子どものこころを理解したつもりになってはいないだろうか、また、「社会に適応していくこと」を無自覚に子どもに強いていないだろうかという問い合わせを投げかけてくれるように思う。Alvarezの臨床から学ぶと同時に、私たちの臨床実践についても問う機会にしたい。		
参考文献	『子どものこころの生きた理解に向けて』(脇谷順子監訳 2017年 金剛出版)	
ご所属	杏林大学保健学部	
メンタライゼーションに基づく治療(MBT) ～外傷的育ちを生きてきた人の<心を見わたす心>を育てる～		
健康なメンタライジングは適切な養育環境の中で成長し、その人の情動調整能力や、行動主体の感覚の獲得に大きな役割を果たす。外傷的育ち(幼少期の虐待や過度の支配など過酷な養育体験とその影響)においては適切なミラーリングが不足し、子どもは虐待的養育者の心理の省察を恐れ回避するためメンタライジングの発達が阻害される。この停止したメンタライジングを再び促進していく治療的アプローチがメンタライゼーションに基づく治療(MBT)である。境界性パーソナリティ障害など外傷的育ちを抱える人の治療を主眼に置いたMBTでは、一般的な精神分析的心理療法に較べ患者の認識論的信頼epistemic trustの獲得のため治療者は興味を持ち感情反応する姿勢で臨み、心的等価的投影同一化を惹起しすぎないよう、患者—治療者関係を扱う際には治療外の関係と繋げる転移解釈を行わず、「今ここ」に生じた患者と治療者の心理を丁寧にメンタライジングする作業を繰り返す。しかし現代クライン派においても、例えばMalcomが、「治療者は中立であると同時に、情動的に能動的であるべき」「精神分析は関係について対話するコミュニケーションであり情動的体験を取り扱う」と述べるように、こと外傷的育ちにおける治療においてはその差異は小さいのではないかと演者は考えている。		
参考文献	崔 炯仁. メンタライゼーションでガイドする外傷的育ちの克服. 星和書店, 2016. Bateman A.& Fonagy P.. Mentalization-Based Treatment for Personality Disorders A Practical Guide. Oxford University Press, 2016. Allen JG.. Restoring Mentalizing in Attachment Relationships : Treating Trauma With Plain Old Therapy. American Psychiatric Association Publishing, 2012(上地雄一郎, 神谷真由美訳. 愛着関係とメンタライゼーションによるトラウマ治療—素朴で古い療法のすすめ. 北大路書房, 2017.)	
ご所属	いわくら病院	

■研修ポイントについて

本セミナーは、日本臨床心理士資格認定協会の「定例型研修会(4ポイント)」として承認されています。5回以上出席の方に「研修証明書」をお渡しいたします。ご希望の方は、振込用紙の通信欄に「研修証明書:要」とお書きください。